

浪速区制100周年プレ企画

【第5回】浪速地域

中・近世の「渡辺村」

区長 浪速地域の歴史と言えば、やはり何といっても「渡辺村」ですね。

渡辺さん 昔、1616(元和2)年から1624(寛永元)年までの間に、今の幸町1丁目のあたりに1つの役人村が作られました。その役人村が1701(元禄14)年から6年かけて、今の浪速地域の一角に移ってきました。それが「渡辺村」です。そのもっと前の1098(承徳2)年の地図を見ると、今の天満のあたり、大川の間に「北渡辺村」「南渡辺村」という表記があります。そこに「渡辺党」がいて、皮革の仕事と坐摩(いかり)神社の清めをしていました。

浅居さん 「渡辺村」が1624(寛永元)年に役負担を命ぜられた頃に、皮問屋の免許(皮革製品を商いできる権利)をもらいました。それで西日本一円から皮を集めてきて、皮問屋として莫大な財産をつくりました。皮革産業が発展して、村がどんどん広がっていきました。江戸時代の最盛期には「渡辺村」の人口は5,000人を超えただけは住めませんが、今の浪速町(※)全体にまで広がりました。

※「渡辺村」の地名はその後「西浜」「浪速町」と変更され、現在は「浪速西」「浪速東」となっている。

地域の教育は、地域の力で

区長 皮革産業により、「渡辺村」はどんどん大きくなり、やがて明治時代を迎えます。それからほとんど浪速地域では、村人の手で小学校を作ったんですね。

北口さん 昔は金持ちがたくさんいました。徳浄寺というお寺があって、そこを仮の校舎にして今の栄小学校のもととなる学校を作りました。その後、近くに校舎を建てたんですが、それも個人の寄付などによるものです。

渡辺さん 場所は、浪速神社の道路を隔てた前あたりです。大阪で2番目に早くできた学校でした。2期目の校舎は浪速神社のところにありました。3期目は1928(昭和3)年に「リパティおおさか」のあった場所にできました。

浅居さん 3期目の小学校の設計者は朝鮮総督府を設計した人で、ドイツ人です。地域がお金を払って設計させてつくりました。

区長 浪速地域では、1911(明治44)年に、私立の有隣小学校という学校もできました。

浅居さん 有隣小学校は今の浪速第1保育所のところに、ニッタ株式会社の創業者である新田長次郎さんが作った学校です。昼間、働いていて栄小学校に行かない子どもたちのために私財を投じ、夜間学校としてスタートしました。新田さんは、自分の名前を売るために作ったんじゃないからと言って、開校式には出席しませんでした。でも、その後で学校の様子を見に行ったら、教科書もノートもなにもなくて裸足の子どもいたので、「これはあかん」といって、また教科書やノートを寄付されたそうです。すごい人だと思います。

思い出のご成婚パレード

区長 太平洋戦争の空襲では浪速地域も焼け野原になりました。人がだんだん戻ってきて、戦災復興の土地区画整理事業が開始され公園も増えました。

交野さん 区画整理のほかにも、浪速神社の西側に



【参加者】(左から)丸井栄子さん、北口武司さん、幅多区長、浅居明彦さん、渡辺美さん、交野満さん

あった十三間堀川が埋め立てられて、その上に阪神高速道路の堺線ができました。

浅居さん 今の上皇と上皇后が結婚された時には、なにわ筋でパレードがありました。

丸井さん 当時、皇太子と美智子妃殿下が来られるということで、近くにすごい臭いを出していた工場があったのですが、その臭いを消すために1週間ほど操業を停止したと記憶しています。

浅居さん うちの母親が美智子さんのことが大好きだったので、パレードには日の丸を持って、肩車をしてもらって見に行きました。

渡辺さん 私は小学1年生の時、学校から行って日の丸を振りました。

浅居さん とにかく町内は大騒ぎでした。

皮革産業の繁栄と衰退

区長 浪速地域は戦後も皮革産業で復興していきます。昔、この地域でどれくらいの人が皮革関連の仕事されていたのですか。

浅居さん 1970年代前半に実態調査をしたんですが、7割を超えていました。

渡辺さん そしてそのうちの7割が靴に関わる仕事をしていました。

北口さん 私も中学を卒業して、丁稚奉公にいました。靴の下の部分を作るために、大きな皮を型に入れて裁断する仕事から覚えました。

浅居さん 靴の製造は分業でやっていた。かかとはかかと専門。ひもはひも専門。北口さんは型抜きで浪速町ナンバーワンでした。包丁で皮を正確に切るなんて職人技です。それをされていたんですよ。

渡辺さん 大量生産の方が安くつくようになって、その後はだんだん数が減って行きました。

太鼓のまち、人権文化の発信地

区長 浪速地域は皮革産業で発展しましたが、なかでも太鼓づくりは、歴史と伝統があるようですね。

浅居さん 島根県的美保神社に献納された太鼓が120個あり、その8割が渡辺村で作られたものだそうです。四天王寺の1番最初の火焰太鼓は豊田秀頼が寄進したのですが、渡辺村が作ったものだと記録に残っています。

2025(令和7)年、浪速区は区制100周年を迎えます。その節目に先立ち、浪速区の歴史を区内11地域の皆さんと座談会で振り返る連載企画です。第5回では、浪速地域の皆さんに当時の思い出やエピソードなどを伺いました。

す。大阪城の時太鼓や四天王寺の聖霊会(しょうりょうえ)の太鼓、大阪の東照宮にある太鼓の張り替えも渡辺村がしていました。

区長 浪速地域では、2002(平成14)年に「人権・太鼓ロード」が整備されました。作ったきっかけを教えてください。

浅居さん 以前、「リパティおおさか」の役員をしていた時、来館者のアンケートを見たら、「太鼓のまち、皮革のまち」と聞いて来たけど、なんらイメージできない。無機質な団地が建っているだけ。つまらない。といったネガティブな回答が30枚くらいあったんです。陸橋の上にあがってまち全体を見て、本当だなと思いました。

それで、歴史のものをモニュメントとして置くことによって太鼓や皮革の歴史を学習できるようにしたいと思い、実行委員会を立ち上げました。

区長 またこの地域には、太鼓集団「怒(いかり)」がありますね。世の中の全ての差別に怒りをという想いから名付けられ、平和と人権の大切さを人々の感性に訴えるべく活動されています。海外公演にも行かれたとか。

浅居さん 後継者を育てるため、「怒塾」を作り、週に1回、練習をしています。今の「怒」のメンバーは「怒塾」出身の子ばかりです。

JR芦原橋駅/人権・太鼓ロード

JR芦原橋駅は1983(昭和58)年に、旧国鉄では全国初である「障がい者用エレベーター」が設置された駅です。人権・太鼓ロードの北の玄関口であり、駅舎内にも太鼓を使った案内板が掲げられています。また人権・太鼓ロードは、全国有数の皮革の集散地だった浪速地域の歴史と文化を正しく伝えるために2003年に作られ、モニュメントがある「海の玄関口ゾーン」や「和太鼓のつくり手ゾーン」など8ゾーンに分けて石碑や案内板などを設け、バス停のベンチや電話ボックスなども太鼓をイメージできるデザインになっています。



これからの地域に寄せる期待

区長 今宮駅のあたりも今と昔とでは大きく変わりました。

北口さん 私が学生の頃は、今宮駅のあたりは貨物の操車場だったので、線路がいくつも



太鼓屋又兵衛の名の残る太鼓

太鼓集団「怒(いかり)」

地域の青年を中心に、1987(昭和62)年に結成。国内だけでなく、カナダなど海外公演も行っています。オリジナル曲「祭」は、JR芦原橋駅の発車メロディーにも採用されています。

問合せ 区 総務課(企画調整) 6647-9683 6633-8270

浪速区制100周年記念事業

浪速区制100周年×EXPO記念事業実行委員会 第3回総会が開催されました!

令和6年7月25日(木)に、レクスト関西 7階ホールにて浪速区制100周年×EXPO記念事業実行委員会 第3回総会が開催され、記念事業や予算などについて審議が行われました。令和7年度の浪速区制100周年がメモリアルな1年になるよう、これからは様々な事業を検討し、実施して参ります。

記念事業(案)	
●絆プロジェクト 100周年記念ナニワ区民まつり 大盆踊り大会 など	●安全安心プロジェクト 災害時用テントの配備 ひたくり防止カバーの配布 など
●こども未来プロジェクト こどもキャンパス(キッズアドベンチャー) 区民音楽祭 など	●お祝いプロジェクト 記念式典 大花火大会 など

(上記事業は変更になる場合があります)



実行委員会の皆さん 問合せ 区 総務課(企画調整) 6647-9683 6633-8270

各地の大学生などを受け入れていますが、他の地域から来てくれる人が増えることで、住んでいるだけこの地域に愛着がない人にも愛着をもってもらえるきっかけになればいいと思っています。引き続き粘り強くやっていきたいと思います。



座談会全文はこちら



浪速地域年表

- 1706(宝永3年) ● 渡辺村、浪速地域に定着
- 1872(明治5年) ● 西大組第22区小学校創立(今の栄小学校)
- 1885(明治18年) ● 新田長次郎が皮革工場を設立(後の新田帯革製造所)
- 1897(明治30年) ● 第1次市域拡張。西浜町を市域に編入
- 1899(明治32年) ● 大阪鉄道今宮駅(現在のJR今宮駅)開業
- 1922(大正11年) ● 西濱水平社創立
- 1928(昭和3年) ● 今宮駅-浪速駅(臨港線)開通(貨車専用線)
- 1945(昭和20年) ● 爆撃により区域の約93%が消失。終戦
- 1950(昭和25年) ● 戦災復興土地区画整理事業の設計認可(栄町工区)
- 1959(昭和34年) ● なにわ筋開通
- 1962(昭和37年) ● 戦災復興土地区画整理事業の完了(栄町工区)
- 1966(昭和41年) ● 芦原橋駅設置
- 1969(昭和44年) ● 十三間堀川を埋め立て高速道路整備
- 1985(昭和60年) ● 大阪人権歴史資料館開館(のちに大阪人権博物館「リパティおおさか」)
- 1987(昭和62年) ● 太鼓集団「怒」結成
- 1996(平成8年) ● 関西本線今宮-JR難波(旧湊町)間立体化鉄道運転開始
- 1997(平成9年) ● 今宮駅の大阪環状線ホームを設置
- 2002(平成14年) ● 人権・太鼓ロード完成

なにわマニア話 vol.5 浪速地域

日本初の骨粉肥料の発見～仲覚兵衛と岸部屋六兵衛

安永年間(1772～1781)に薩摩・知覧の海運業者の仲覚兵衛が大坂滞在中に渡辺村を通ると道路脇で妙に雑草が繁っている所がありました。不思議に思って近づくに骸骨があり、覚兵衛は「もしかしたら骸骨は肥料になるのでは?」と閃きます。早速、骸骨を砕いて菜種に播くと見事な実ができて、覚兵衛は日本初の骨粉肥料の発見者となりました。その後、渡辺村の岸部屋六兵衛と骸骨売買の契約を交わしました。六兵衛は皮革商人で骸骨の処分困っていましたが、それがお金になるということで覚兵衛と酒盛りをして喜んだといいます。この骨粉肥料はのちに薩摩藩の専売となって莫大な利益を上げ、大正時代には知覧に仲覚兵衛の顕彰碑が建立され、樋渡清康(鹿児島島の教育者)は「世の富をまねく尾花となりにけりしげる難波の里の小薄」の祝歌が伝わっています。また岸部屋六兵衛屋敷跡(浪速西2丁目14)にも記念碑が建立されています。



岸部屋六兵衛屋敷跡の記念碑(浪速西2丁目14)



つとよし 陸奥賢さん 観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者